

4年連続！互恵デベロップアーク株式会社様から 企業版ふるさと納税制度を活用した寄附をいただきました

京丹後市(市長:中山 泰)は、互恵デベロップアーク株式会社様(代表取締役:松村 恭宏)から企業版ふるさと納税制度を通じ、「地域の『夢』を応援するプロジェクト」*1に寄附を賜り、令和 8 年 2 月 20 日(金)、同社を訪問し、感謝状を贈呈しました。同社からの寄附は、令和 4 年度より 4 年連続となります。



(写真):感謝状の贈呈 :左から 近藤 健司 京丹後市副市長、松村 恭宏 代表取締役

企業版ふるさと納税*2は、国が認定した地域再生計画に位置づけられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除する仕組みです。また、税額控除を受けられるだけでなく、本市の事業を支援することを通じて社会課題の解決につながる取り組みです。

今回寄附を賜りました互恵デベロップアーク株式会社様は、東京 23 区をはじめとする 1 都 3 県において、売買を中心に不動産のリノベーション、設計、企画等広く事業を展開されています。不動産市場のニーズを迅速に把握し、あらゆる角度から不動産へアプローチをするなど、不動産価値の再生を通じて、社会の発展に貢献されています。

また、代表取締役の松村様は本市のご出身であり、「故郷の発展に寄与したい」という温かい思いから、寄附を賜ることとなりました。松村様からは、「京丹後市は美しい自然と豊かな文化が融合した素晴らしい場所であり、何より人が温かく、帰省するたびに心安らぐ場所です。京丹後で育ち、自然と触れ合いながら自ら選択し行動する喜びを感じた経験が、私の好奇心や行動力の源となっています。この故郷を守りたいという思いから、2025 年 6 月には、リノベーションなど自社の強みを活かした宿「野間野(のまの)」を弥栄町野間地域に開業し、都市部の方にも京丹後の素晴らしさを体験・共感いただいております。今後もこのような取り組みを通じて、市の発展に貢献してまいります。」とのお言葉をいただきました。

この度賜りました寄附は、令和 8 年度に実施される「弥栄町野間地域及び黒部地域」の地域活性化事業の支援に活用させていただきます。

今後も本市は、企業版ふるさと納税を通じて、地域住民の皆様による自由な発想での挑戦を支援してまいります。地域ならではの魅力を磨き上げることで、誰もが「住み続けたい」「訪れたい」と思える、活気に満ちた地域づくりを力強く推進してまいります。

*1 地域の『夢』を応援するプロジェクトとは、225 の集落を抱える本市において、住民自らが地域課題に向き合うため、新たな地域コミュニティ組織を立ち上げ、誰もが安心して住み続けられる「持続可能な地域づくり」を次世代へつないでいく取り組みです。

*2 企業版ふるさと納税の制度概要は、内閣府及び京丹後市ホームページをご覧ください。

内閣府ポータルサイト https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/kigyou_furusato.html

京丹後市ホームページ <https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/mayoroffice/hurusatoouen/2/18672.html>

本件に関する報道機関の問い合わせ先

京丹後市 市長公室ふるさと応援推進課 (担当:増馬)

Tel: 0772-69-1100 / E-mail: furusui@city.kyotango.lg.jp